



平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年12月27日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・デイ
コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03-3562-7521
四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の業績（平成28年9月1日～平成28年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	3,779	5.9	△72	-	△80	-	△62	-
28年8月期第1四半期	3,567	0.8	△110	-	△118	-	△101	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	△24.70	-
28年8月期第1四半期	△40.22	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第1四半期	10,027	1,856	18.0
28年8月期	9,296	1,950	20.4

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 1,806百万円 28年8月期 1,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	-	0.00	-	15.00	15.00
29年8月期	-	-	-	-	-
29年8月期（予想）	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年8月期の業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,637	5.0	268	13.5	250	14.1	153	80.0	60.41
通期	17,837	4.7	232	53.6	197	66.9	77	-	30.40

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期1Q	2,532,400株	28年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	29年8月期1Q	－株	28年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期1Q	2,532,400株	28年8月期1Q	2,532,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等によりゆるやかな回復基調で推移したものの、個人消費は足踏み状態が続きました。

このような状況下、当社は、厳選した新規出店と既存店対策の強化、企業イメージの向上と自社商品ブランドの確立、EC（ネット通販）事業の拡大を当事業年度の重点課題として取り組んでまいりました。

販売活動の施策といたしましては、宝飾催事・アウトレットセール等の販促活動に加えて、3店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールを実施し、新規顧客の開拓と固定客づくりに努めてまいりました。

ECにつきましては、広告宣伝及びメールマガジンの配信を継続するとともに、買い上げ率向上を図るべくWebサイトの精度向上及び宝飾部門の強化に努めました。

商品施策といたしましては、オープン陳列の売り場展開により値ごろ感のある価格帯の商品拡充に努めるとともに、高額ブランド品の予約販売会の実施、イオングループの「ブラックフライデー」キャンペーンでの目玉商品の投入等を行ってまいりました。また、Happy Candle（ハッピーキャンドル）商品については、秋冬の新作商品を投入するとともに、雑誌掲載による広告宣伝やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を通じて、ブランドの強化に努めてまいりました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事等による販売強化に加え、人気商品の展開を強化したことで売上高669,088千円（前第1四半期累計期間比11.1%増）、時計は一部の主力ブランド品の販売を強化したことで売上高1,131,360千円（同13.7%増）、バッグ・小物は中低価格商品を強化し売上高1,978,940千円（同0.4%増）となりました。

店舗展開といたしましては、富士宮店（静岡県）、土浦店（茨城県）、広島府中店（広島県）の計3店舗を新規出店いたしました。これにより、当第1四半期末の店舗数は69店舗となりました。

店舗改装につきましては、八幡東店、大和郡山店、おのだ店を通常改装するとともに、パルナ店、銀座店等について小規模改装を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3,779,389千円（前第1四半期累計期間比5.9%増）、営業損失72,179千円（前第1四半期累計期間営業損失110,092千円）、経常損失80,202千円（同経常損失118,974千円）、四半期純損失62,552千円（同純損失101,858千円）となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,357,127千円となり、前事業年度末と比較して686,520千円増加しております。これは主として、現金及び預金が733,265千円減少したものの、12月商戦に向けた商品確保により商品が1,247,379千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,670,004千円となり、前事業年度末と比較して43,905千円増加しております。これは主として、投資有価証券の償還によりその他が56,260千円減少したものの、新規出店のため、建物が40,300千円、工具、器具及び備品が44,835千円、敷金及び保証金が16,843千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,489,128千円となり、前事業年度末と比較して930,892千円増加しております。これは主として、12月商戦に向けた商品確保により支払手形及び買掛金が869,448千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,681,261千円となり、前事業年度末と比較して106,325千円減少しております。これは主として、返済により長期借入金が115,168千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、1,856,741千円となり、前事業年度末と比較して94,141千円減少しております。これは主として、配当金の支払いや四半期純損失の計上により利益剰余金が100,538千円減少したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月14日に公表いたしました平成29年8月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,756,521	2,023,255
売掛金	852,087	900,623
商品	3,801,514	5,048,894
貯蔵品	112,185	113,300
その他	148,297	271,053
流動資産合計	7,670,607	8,357,127
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	600,694	640,995
構築物(純額)	22	21
工具、器具及び備品(純額)	247,896	292,731
リース資産(純額)	12,250	10,882
有形固定資産合計	860,863	944,630
無形固定資産		
ソフトウェア	23,658	23,294
リース資産	460	230
無形固定資産合計	24,118	23,524
投資その他の資産		
敷金及び保証金	539,870	556,713
その他	202,082	145,822
貸倒引当金	△836	△686
投資その他の資産合計	741,116	701,849
固定資産合計	1,626,098	1,670,004
資産合計	9,296,705	10,027,131

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	831,668	1,701,116
電子記録債務	349,946	354,947
1年内返済予定の長期借入金	1,825,346	1,815,449
未払法人税等	27,181	10,691
賞与引当金	49,520	81,331
ポイント引当金	13,731	14,549
資産除去債務	6,327	3,881
その他	454,515	507,162
流動負債合計	3,558,236	4,489,128
固定負債		
長期借入金	3,127,742	3,012,574
資産除去債務	151,160	156,620
その他	508,684	512,067
固定負債合計	3,787,587	3,681,261
負債合計	7,345,823	8,170,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,273,931	1,173,393
株主資本合計	1,912,076	1,811,538
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,621	△5,146
評価・換算差額等合計	△8,621	△5,146
新株予約権	47,428	50,349
純資産合計	1,950,882	1,856,741
負債純資産合計	9,296,705	10,027,131

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	3,567,741	3,779,389
売上原価	2,704,164	2,898,235
売上総利益	863,577	881,153
販売費及び一般管理費	973,669	953,333
営業損失(△)	△110,092	△72,179
営業外収益		
受取利息	425	61
受取配当金	217	299
業務受託料	356	320
受取保険金	194	-
その他	535	327
営業外収益合計	1,729	1,010
営業外費用		
支払利息	10,151	8,639
その他	460	394
営業外費用合計	10,611	9,033
経常損失(△)	△118,974	△80,202
特別損失		
固定資産廃棄損	8,855	319
減損損失	8,029	-
店舗閉鎖損失	2,750	-
投資有価証券償還損	-	853
特別損失合計	19,635	1,173
税引前四半期純損失(△)	△138,609	△81,376
法人税、住民税及び事業税	4,353	5,234
法人税等調整額	△41,104	△24,058
法人税等合計	△36,751	△18,824
四半期純損失(△)	△101,858	△62,552

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。